

一般社団法人 宮大工養成塾西大寺校について

当山の伽藍は七転び八起き。1200年もの間、幾度となく災害や火災に見舞われ、修復、復興を繰り返しながら今に至ります。その伽藍の護持の為に活躍されたのは邑久の宮大工集団で明治期になると段々と衰退し始め、今ではその流れを組む宮大工集団の影は見えなくなりましたが、先人宮大工の方々には感謝の意が尽くせません。

神社仏閣の建築や修繕にたずさわる大工は、宮大工と呼びますが、地域のお社から、世界遺産や国宝などの重要文化財に指定されているような建物まで広く関わっています。

しかし、現在は後継者不足で、ある全国調査では本流の宮大工として働いている方は1,000名以下とも云われています。また、一人前になれるまでに最低10年かかると言われており、その専門性の高さと全体的な高齢化が相まって、後継者が育たないままに引退してしまう宮大工が少なくないそうです。こうした悪循環によって結果的に寺社仏閣の再生が追い付かず、我々寺院経営も困難な状況です。

宮大工養成塾は

1. 現場で通用する宮大工を養成する。
2. 共に学び、共に暮らし、共に成長する。
3. 地方の消滅していく神社仏閣を救う。

の3つの心情を念頭において、現在大阪、兵庫、神奈川で展開しています。金陵山西大寺はこの度、持続可能な寺社仏閣の再生を目的に全国で活躍できる宮大工を養成させて頂くと共に、雇用拡大への社会貢献事業として、全国4校目の宮大工養成塾西大寺校(フランチャイズ校)を開校する運びになりました。

寺院内にある倉庫を改築し校舎とする予定で全国では初の取り組みとなります。令和7年4月の開校に向けて準備中ですが、ご興味のある方は是非お問合せ下さい。尚、下記日程にて宮大工体験を募集しています。是非お気軽にご参加下さい。

合掌

宮大工体験西大寺校日程

- ①令和6年7月14日 13:00～16:00
- ②令和6年8月25日 13:00～16:00
- ③令和6年9月22日 13:00～16:00

宮大工体験の申し込み➡[宮大工養成塾西大寺校](#)

宮大工養成塾 岡山西大寺校 開校準備資料

1, 自己紹介（宮大工養成塾創設者）



金田 優（かなた すぐる）

1986年2月15日生

大阪府柏原市出身

工業高校建築科卒

(株)金剛組：西大寺観音院牛玉所殿大修復事業に携わる

(株)鳩工舎

(株)小島建設

合同会社 金田社寺建築 起業10期目

一般社団法人 宮大工養成塾 設立 8期目

2, 宮大工養成塾とは？

若手宮大工の養成を通じて、地域の神社仏閣を再生する団体になります。

全国から宮大工になりたい若者を募集し、授業料を頂いて、その資金を活用しながら、プロの宮大工と一緒に神社仏閣の再生を行います。

3, 宮大工養成塾の強み

昨今の人材不足・円高・ウッドショックの影響で、建築コストが高騰する中、神社仏閣の建築維持費の負担が増加しています。プロの宮大工1名と宮大工養成塾の塾生が一緒になってプロジェクトを行う事によって、低コストで修復または新築する事が可能になり、神社仏閣の建築維持費の負担軽減を行う事が出来ます。

4, 過去の実績（一部）

宮原神社摂社水主神社新築工事

浄教寺山門・塀・長屋門・本堂修復工事

能満寺山門新築工事

西大寺宝木棚

5, 岡山西大寺校での活動

西大寺境内または周辺の神社仏閣の修復及び新築の作業をプロの宮大工1名と塾生で行っていきます。塾生は、近隣の宿舎より西大寺の木工倉庫に通い、宮大工の生活習慣・礼儀礼節・大工道具の使い方を学ぶ他、実践の仕事を通じて実務経験を積みます。大工仕事以外にも、西大寺の行事設営などのお手伝いを行う事により、仏教の文化に触れる事で建築の根本を学ぶ事が出来ます。